

◆ 等式の変化

I 等号の意味

等号 (=) は、等式の右辺と左辺の量が等しいことを表す記号である。

(左辺) $3 = 3$ (右辺)

(左辺) $3 \neq 4$ (右辺)

2 等式を変化させるときに使用するルール

① 等式の両辺に同じ量を掛けても、又は両辺を同じ量で割っても、等式が成立する。

$A=B$ のとき、 $A \times \underline{C} = B \times \underline{C}$ 又は $A/\underline{C} = B/\underline{C}$ が成り立つ。

② 等式の両辺の逆数をとれば、等式が成立する。

$A/1 = B/1$ のとき、 $1/A = 1/B$ が成り立つ。

③ 分数の分母と分子に同じ量を掛けても、又は同じ量で割っても、分数の値は変わらない。

$$A/B = A \times \underline{C}/B \times \underline{C} = A \div \underline{C}/B \div \underline{C}$$

(用語説明) 逆数とは、分数の分母と分子を入れ替えた値をいう。例えば、 $1/2$ の逆数は $2/1$ である。 $2/1$ の逆数は $1/2$ である。